特性尊敬関連感情尺度の修正版作成の試み

武藤 世良

(お茶の水女子大学教学 IR・教育開発・学修支援センター)

キーワード: 尊敬, 感情特性, 尺度作成

Modifying the Trait Respect-Related Emotions Scale

Sera MUTO

(Center for Institutional Research, Educational Development, and Learning Support, Ochanomizu University)

Key Words: respect, emotional traits, scale development

目 的

現代日本人は尊敬に関わる感情（尊敬関連感情）を敬愛・心酔・畏怖・感心・驚嘆の5種類に概念化していることが示唆されている（武藤, 2018）。しかし, 青年期後期を対象に尊敬関連感情の特性を測定する尺度（特性尊敬関連感情尺度）を作成した武藤（2016）では, 同様の5因子を想定したにもかかわらず, 敬愛・感心・驚嘆は典型的な意味での尊敬の特性としてとまり, 特性尊敬・特性心酔・特性畏怖の3因子が抽出されたことが報告されている。武藤（2016, 2018）はこの結果に関して, (a) 感心と驚嘆の特性を測定する項目内容が不適切であったために, 5因子に分かれなかった可能性と, (b) 感情概念ではなく, 感情特性の次元では感心と驚嘆に個別の特性は存在しない可能性の2つを示唆している。また, 特性畏怖の項目に対人的内容と対自然的内容が混在していることも指摘している（武藤, 2018）。そこで, 本研究では日本の成人を対象に特性尊敬関連感情尺度の項目を拡充し, 感心と驚嘆に独自の因子が抽出されるか, また特性畏怖が対人的内容と対自然的内容に弁別されるかを検証する。

方 法

本研究は武藤（2017）と同時に実施された。

参加者と手続き

2016年2月に, 楽天リサーチ株式会社社のインターネットリサーチを利用し, web上で調査を行った。有効回答者は, 日本全国の771名（男性361名, 女性410名, 平均年齢40.0歳（ $SD = 10.9$, レンジ: 20—59））であった。

調査内容

本分析に用いた変数のみ記述する。

特性尊敬関連感情尺度修正版 既存の38項目（武藤, 2016）を微修正・追加した計55項目により実施した。畏怖に関しては対自然・神仏に関わる項目を追加した。優れた特定行為に焦点が当たる感心・驚嘆に関しては, 感心では一回性的の内容項目を, 驚嘆では出来事の意味理解や驚きに関わる項目を追加した。敬愛・心酔に関しても項目を微修正・追加した（具体的な項目例はTable 1）。「1. 全くあてはまらない」から「7. 非常によくあてはまる」の7件法で回答を求めた。項目順は参加者ごとにランダムに表示されるように設定した。

Big Five 日本語版 Ten Item Personality Inventory (TIPI-J: 小塩・阿部・カトロニ, 2012) を使用した（10項目7件法）。

結 果

特性尊敬関連感情尺度修正版の確認的因子分析の結果, 感心と驚嘆の因子間相関は.90を超え, 弁別が困難であった。そこで, 探索的因子分析を行い, 並行分析や解釈可能性から5因子を採用した。単純構造を目指し因子分析を繰り返す際には, 武藤（2018）を基に, 当該感情概念に関わる言葉（例: 心酔の場合, 心酔・崇拜・憧れ）を含む項目を積極的に残し

た。また, 下位尺度の項目数がほぼ均等になるように調整した。最終的に特性行為焦点尊敬, 特性心酔, 特性対人畏怖, 特性対神聖畏怖, 特性敬愛の5因子31項目が抽出された（下位尺度の記述統計と項目例はTable 1）。また, 5つの感情特性は年齢やBig Fiveと異なる関連を示した（Table 2）。

Table 1 特性尊敬関連感情尺度修正版の記述統計と項目例

	<i>M</i>	<i>SD</i>
特性行為焦点尊敬 (8項目: $\alpha = .90, \omega = .90$)	4.16	0.98
例: 私は人が何か優れたことをすると, その出来事が一回限りのことであっても, 大いに称賛する		
特性心酔 (7項目: $\alpha = .89, \omega = .89$)	3.48	1.07
例: 私は憧れの人に没頭して周りが見えなくなることがよくある		
特性対人畏怖 (5項目: $\alpha = .88, \omega = .88$)	3.80	1.11
例: 偉い人に会うときはいつも自分の身が小さくなった気がする		
特性対神聖畏怖 (6項目: $\alpha = .82, \omega = .83$)	3.90	1.02
例: 私はいつも自然の神秘や美しさに畏敬 (いけい) の念 (おそれ敬う気持ち) を感じる		
特性敬愛 (5項目: $\alpha = .86, \omega = .87$)	3.78	1.01
例: 私はよく身近な人に敬愛の念を抱く		

Table 2 下位尺度間および年齢, Big Five との相関係数

	特性行為 焦点尊敬	特性心酔	特性対人 畏怖	特性対神 聖畏怖	特性敬愛
特性行為焦点尊敬					
特性心酔	.62 ***				
特性対人畏怖	.58 ***	.63 ***			
特性対神聖畏怖	.62 ***	.51 ***	.57 ***		
特性敬愛	.71 ***	.61 ***	.58 ***	.58 ***	
年齢	.00	-.12 **	-.08 *	.07 *	-.10 **
外向性	.12 ***	.05	-.20 ***	.02	.17 ***
協調性	.10 **	-.12 ***	-.04	.05	.10 **
勤勉性	.06	-.04	-.20 ***	.01	.02
神経症傾向	.05	.15 ***	.32 ***	.10 **	-.01
開放性	.21 ***	.10 **	-.14 ***	.08 *	.10 **

* $p < .05$ ** $p < .01$ *** $p < .001$

考 察

人に対する畏怖と自然や神仏に対する畏怖, また敬愛と行為焦点尊敬の感情特性は異なることが示唆された。下位尺度間の相関が高かったため, 今後の追試的検討が必要である。

引用文献

- 武藤 世良 (2016). 特性尊敬関連感情尺度（青年期後期用）の作成の試み 心理学研究, 86, 566–576.
- 武藤 世良 (2017). タテ関係における義務尊敬意識に性差と年齢差は見られるか? 日本心理学会第81回大会一般研究発表（ポスター: 2D-019）
- 武藤 世良 (2018). 尊敬関連感情の心理学 ナカニシヤ出版
- 小塩 真司・阿部 晋吾・カトロニ ピノ (2012). 日本語版 Ten Item Personality Inventory (TIPI-J) 作成の試み パーソナリティ研究, 21, 40–52.

注) 本研究は科研費（課題番号 13J09637）の助成を受けた。